

平成 29 年度第 2 回利根町総合教育会議 議事録

平成 30 年 3 月 28 日 午後 4 時 00 分開会

1. 出席者

【町長】	町長	佐々木喜章君
【教育委員会】	教育長	杉山英彦君
	教育長職務代理者	武谷昭子君
	委員	木村矩男君
	委員	佐藤忠信君
	委員	村上盛一君

1. 欠席者

なし

1. 出席事務局職員

【町長部局】	総務課長	清水一男君
	企画課長	飯塚良一君
	財政課長	武藤武治君

【教育委員会】	学校教育課長	寺田寛君
	生涯学習課長	野田文雄君
	指導室長	直井由貴君
	学校教育課長補佐	大越克典君
	学校教育課長補佐	河村明君
	学校教育課係長	布袋哲朗君
	生涯学習課長補佐	田口輝夫君
	生涯学習課長補佐	古山栄一君
	生涯学習課主査	渡辺法子君

1. 協議事項

- (1) 第 74 回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の利根町開催準備状況について
- (2) その他

午後 4 時 00 分開会

○学校教育課長（寺田 寛君） それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成 29 年度第 2 回利根町総合教育会議を開会いたします。

初めに、佐々木町長よりご挨拶をお願いいたします。

○町長（佐々木喜章君） 皆さん、こんにちは。

桜の花も満開になりかけで、「桜まつり」のときには散ってしまうんじゃないかなと思っているんですが、桜の花が咲くのがことしは早くて、なかなかうまくいきませんね。あしたとあさってはライトアップするそうなので、ぜひ見に来ていただけたらと思います。

それでは、本日はお忙しいところ、平成29年度第2回の利根町総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また、教育長、教育委員の皆様方には、日ごろから、学校教育、生涯学習、文化・スポーツの進行などの広い分野において教育行政を一体的に推進するため、ご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、皆さんご存じのとおり、平成31年に「第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体」が茨城県で開催されることが正式に決定され、本県での開催は、1974年「水と緑のまごころ国体」の第29回大会以来、45年ぶりにスポーツの祭典として開催することとなります。利根町においても、デモンストラーションスポーツとしまして、ウォーキングの競技が開催されることになり、大変喜ばしく思っております。

開催に伴い、利根町を県内外の多くの方々に広く知っていただくいい機会と捉え、おもてなしの心をもって参加者の皆さんを温かくお迎えし、自然や歴史、文化に触れていただき、利根町の魅力を情報発信し、学びながら健康づくりができるようなすばらしい大会になればと考えております。

11月に続き、私が町長に就任してから第2回目の総合教育会議となるわけですが、この総合教育会議の中でたくさんのご意見を頂戴し、活発な意見交換をさせていただくことで、前回もお話したとおり、これまで以上に教育委員会との連携を強化してまいりたいと考えておりますので、皆さんのご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

○学校教育課長（寺田 寛君） ありがとうございます。

続きまして、杉山教育長にご挨拶をお願いいたします。

○教育長（杉山英彦君） 改めましてこんにちは。教育委員会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成29年度第2回の総合教育会議ということで、町長を初め町当局の方々、並びに教育委員の皆様、そして教育委員会事務局の方々を一堂に会して、総合教育会議が開催されます。

本日の議題につきましては、平成31年に本県で開催されます「第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体」の準備状況について話し合いを持っていただくということで、日ごろは学校教育がメインでございますが、本日は、社会教育における生涯学習をテーマに多方面でのご意見を拝聴して、進捗状況の改善をしていければなというふうに考えております。

なかなか教育委員会だけでは対応が難しい面もございますので、町当局のお力添えのもと、よりよい方向性が見出せる会議となるようご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願ひ申し上げます。

○学校教育課長（寺田 寛君） ありがとうございます。

それでは、議事進行につきましては、利根町総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定によりまして、佐々木町長にお願いいたしたいと思っております。よろしく申し上げます。

○町長（佐々木喜章君） それでは、皆様のご協力をいただきながら進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

早速議題に入らせていただきます。

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の利根町開催準備状況についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

○生涯学習課長（野田文雄君） 生涯学習課の野田でございます。着座にて説明させていただきます。

それでは、まず、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の利根町開催準備状況につきまして、お手元の資料1ページをごらんください。

「I 第74回国民体育大会の概要について」、ご説明いたします。

「国体」とは、「国民体育大会」の略称で、法律（スポーツ基本法第26条）に基づき、都道府県持ち回りで毎年開催される国内最大の国民スポーツの祭典「冬季大会」と秋の「本大会」の総合得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）、皇后杯（女子総合成績1位）が授与されます。

「1. 目的」は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする目的で開催されます。

「2. 主催」は、公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」）、文部科学省、開催地都道府県の3者共催で行われ、なお、各競技においては、日体協加盟競技団体、会場地区市町村を合わせた5者共催となります。

「3. 回数」は、スポーツを通じて国民に希望と勇気を与えようと、昭和21年に京都を中心に他4県で開催された大会を第1回とし、毎年開催されております。国民体育大会開催予定の県につきましては、参考といたしまして第72回大会、第73回大会につきましては、記載のとおりになっております。

第74回大会は、2019年（平成31年）、茨城県。「いきいき茨城ゆめ国体」が平成28年7月20日、公益財団法人日本体育協会理事会において、第74回国民体育大会の開催地、茨城県及び会期が決定されました。なお、茨城県開催は、昭和49年の第29回大会「水と緑のまごころ国体」以来の開催となります。

「4. 大会愛称」は、「いきいき茨城ゆめ国体」となります。

「5. スローガン」は、「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」となります。

「6. マスコット」は、「いばラッキー」となります。参考資料4にも記載されております。「いばラッキー」と、あわせて「ウオーキング いばラッキー」と「ご当地 いばラッキー」利根町バージョンとして、利根川堤防の桜を背景に、県指定文化財の無形民俗文化財「地固め唄」をイメージしたデザインとなっております。

戻りまして、2 ページをお願いいたします。

「7. 開催時期（会期）」でございますが、2019 年（平成 31 年）9 月 28 日（土）～10 月 8 日（火）となります。デモンストラレーションスポーツは、原則として第 74 回国民体育大会の会期 1 カ月前から閉会までの期間となり、実施日数は 1 日となります。

「8. 実施予定競技」は、（1）正式競技が、下記の表のとおり 37 競技となっております。

（2）特別競技は、高等学校野球の 1 競技となります。

（3）その他実施することができる競技として、記載のとおり公開競技が 5 競技、デモンストラレーションスポーツは 31 競技、15 市 7 町 1 村で行われ、県内在住の方を参加対象とし、県・会場地市町村・県競技団体等が合意した種目を開催いたします。なお、都道府県対抗の得点対象とはなりません。

「9. 参加予定総数（監督・選手）」は約 2 万 6,000 名で、茨城国体予定総数となっております。

続きまして、3 ページをお願いいたします。

「Ⅱ 利根町開催競技及び競技会場等」について、ご説明をいたします。

「1. 開催競技」は、利根町ではデモンストラレーションスポーツ競技、ウオーキングを開催いたします。

競技を紹介させていただきますと、ウオーキングは身体に負担が少なく、ストレスの解消やスポーツが苦手な方もすぐに楽しめるという利点があり、そして、歩きながら健康づくりやグループでのコミュニケーションを深めることができるなど、手軽に楽しめる軽スポーツです。また、安全に誰でも気軽に参加でき、有酸素運動の代表ともいわれ、健康やダイエットにも効果的です。デモンストラレーション、デモスポ行事とは、子どもからお年寄りまで幅広く親しめるレクリエーションスポーツ行事のことをいいます。

「2. 開催日」は、本大会が募集人員 500 名の予定で、2019 年（平成 31 年）9 月 7 日（土）、予備日が平成 31 年 9 月 8 日（日）となります。プレリハーサル大会は募集人員 300 人の予定で、2018 年（平成 30 年）9 月 22 日（土）、予備日は 9 月 23 日（日）を予定しております。

「3. 実施会場及びコース」は、利根町公民館及び町内とねヘルスロードコースで、ショートコース 7 キロとロングコース 18 キロの 2 コースを予定しております。

ショートコース 7 キロをご説明いたします。参考資料 1 のショートコース地図をごらんください。

ショートコースにつきましては、利根町公民館をスタートしまして、文小学校前を通り、利根町役場、徳満寺、赤松宗旦旧居、来見寺、布川神社、柳田國男記念公苑からフレッシュタウンを通りまして、押付新田の泪塚を通り、利根町公民館でゴールになります。距離にしまして約 7 キロメートルのコースとなります。

続きまして、ロングコース 18 キロをご説明いたします。参考資料 2 のコース地図をごらんください。

同じく、利根町公民館をスタートし、文小学校の前を通り、役場に向かいまして、次に利根川の堤防に出ます。それから戸田井橋方面に向かい、押付本田手前より上曾根方面に向かいます。羽根野諏訪神社前を通り、利根中学校へ向かい、円明寺、こうもう神社（門の宮・奥の宮）を通り、水門交差点より親水公園、国保診療所、応順寺、利根ニュータウン、押付新田の泪塚を通りまして、利根町公民館でゴールとなります。距離にしまして、約 18 キロメートルになります。

コースにつきましては、看板などを作成し、その場所の歴史及び由来を知っていただけるような、学びながら健康づくりをしていただくコースとなっております。

4ページをごらんください。

「4. 大会に向けたスケジュール」についてご説明いたします。

表は、年度、茨城県主要日程、利根町主要日程の項目順となっております。

利根町主要日程を説明いたします。

平成29年度利根町では、昨年の9月に実行委員会を設立しております。平成30年度では、実行委員会総会や国体広報PRを積極的に行い、町広報誌などの掲載やウォーキング講座を開催し、本大会に向けた大会能力向上や町民の国体に対する参加意識の向上や機運の醸成を図る目的で、プレ大会を9月22日（土）に開催いたします。

また、先ほど説明したとおり、本大会として、平成31年9月7日（土）、開催準備に向けて取り組んでいる状況でございます。

5ページをごらんください。

「5. 第74回いきいき茨城ゆめ国体利根町実行委員会委員名簿」についてご説明いたします。

利根町実行委員会は国民体育大会を成功させるため、開催準備に取り組み、円滑な運営に必要な事務と事業を行うことを目的に、実行委員会を設立しております。名簿のとおり、会長として町長、副会長に議長と教育長、委員として利根町議会議員や利根町スポーツ推進委員、利根町歩く会など、所属や職名、氏名は記載のとおりで、事務局を含む37名の実行委員会委員の構成となっております。

6ページをお開きください。

「6. 第74回いきいき茨城ゆめ国体利根町実行委員会の組織図」についてご説明いたします。

表をごらんください。表のとおり「利根町実行委員会」として、事務局に生涯学習課、常任委員会を設置しており、また、専門委員会では、総会、常任委員会から付託または委任された事項について、専門的な施策の審議、調査を行います。

専門委員会は、大きく二つの委員会に分かれます。表では中段下の部分になりますが、総務・競技専門委員会があり、「総務・企画」と「競技・式典」に、続いて医療・交通専門委員会があり、「医療・衛生」と「交通・警備」に分かれます。主な専門部の内容、教育関係の団体等は記載のとおりとなっております。

以上のような組織図となっております。

7ページをごらんください。

「Ⅲ 今後の取り組みについて」ご説明をいたします。

茨城国体の「いきいき茨城ゆめ国体県民運動」の四つの基本目標に基づき、取り組んでいこうと思っております。まず、1番目としまして、「活動への参加」ということで、国体イベントやボランティア活動への参加など、町民が一体となって国体を盛り上げたいと思います。利根町においては、案の段階でございますが、記載のとおり、採火イベントの参加や応援やボランティアの募集、募金での支援、テーマソングやダンスで盛り上げるなど、取り組んでいけたらと考えております。

8 ページをごらんください。2 番目といたしまして、「おもてなし」ということで、利根町に訪れた方を心のこもった、心に残る温かいおもてなしで迎えたいと思います。

案になりますが、花いっぱい運動の推進、協力をいただき、たくさんの花で歓迎し、先催県などを参考にしながら、参加者には大会記念として大会の完歩証、大会記念章、記念品等をお渡しできたらと考えております。また、町の地場産品での食による人情味あふれるおもてなしの提供、クリーン作戦等での環境美化活動づくりに取り組んでいけたらと考えております。

9 ページをごらんください。3 番目といたしまして、「スポーツの推進」ということで、スポーツに対する意欲や関心を高め、スポーツ活動を推進したいと思います。案になりますが、デモンストレーションスポーツや地域スポーツイベント参加や案内、ウォーキング体験講座の実施などを行い、スポーツのさらなる普及と地域スポーツを盛り上げ取り組んでいけたらと考えております。

4 番目といたしまして、「利根町の情報発信」ということで、広報媒体（広報紙、インターネット、ポスター掲示など）を積極的に活用し、また、啓発物品や広報看板、懸垂幕や横断幕、のぼり旗の設置など多様な手法を用いながら広く PR を行い、町の魅力を再認識するとともに、認知度向上を図り、積極的に県内外に広く情報を発信し、浸透させていきたいと思っております。

また、豊かな自然や特色ある歴史などを紹介し、参考資料 3 に看板等設置予定一覧がございます。この内容は、先月 2 月に常任委員会を開催し、看板の設置について協議し、その結果、記載の場所は設置を進めていただきたい内容部分であります。なお、その他の場所についても現在調整中でありまして、今後さらに調査し、必要部分がある場所については設置の検討を進めたいと考えております。

あわせて、地産地消を推進し、利根町の食の紹介や地域ブランドの特産品 PR など、地域の活性化にも取り組んでいけたらと考えております。

9 ページ以降につきましては、参考資料といたしまして、先ほど説明いたしました内容を含め、国体関連の資料、リーフレットを載せております。

利根町開催準備状況についての説明につきましては、以上でございますが、大会をよりよい形で成功に導くため、教育委員会の皆様から忌憚のないご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

○町長（佐々木喜章君） ただいま、事務局からの説明がございました。

まず、資料等についてご質問等ありませんか。

○委員（木村矩男君） これはあくまでも案でよろしいんですか。例えば本大会の日程、9 月 7 日（土）とか。

○生涯学習課長（野田文雄君） ほぼ決定でございます。

○委員（木村矩男君） ああ、そうなんですか。利根町は稲作の町だから、ちょっと一番忙しいときで、人集めはどうかかなという感じがしますけれどもね。

○町長（佐々木喜章君） その点について、どうでしょうか。

○生涯学習課長（野田文雄君） ウォーキング競技は、利根町と五霞町で競技が行われる予定でして、五霞町と利根町の競技日程は、2 週間以上離さなければいけないというような決まりがございます。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 協力をしていただく茨城県のウォーキング協会から、お互いの競技

の日程は、2週間以上あけてくださいということで提示がありまして、五霞町との調整の結果、この日程ということで決まりました。

○委員（木村矩男君） おもてなしでも、利根町のコシヒカリもまだできないし、あと1週間くらい遅らせれば、大分違うのかなと思ったので。

○委員（佐藤忠信君） 今、木村委員からあったお米の刈り取りの時期みたいなのは、いつごろになるんでしょうか。

○委員（木村矩男君） 9月7日あたりは、ピークでしょう。

○委員（佐藤忠信君） 稲刈りで機械が入ったりして、その後、結構、道に泥とかすごいことになっていたりするんですが、そういう対応とかは大丈夫なんでしょうか。

○生涯学習課長（野田文雄君） ちょうど稲刈りの時期になりますので、その辺は十分に事前に調査して、泥をよけるなど道路の整備をしていきたいと思います。

結構でると思うんですが、今、大型機械なものですから、キャタピラーの部分が結構大きいのが落ちているかと思うんですけども、対応はしていきたいと思います。

○委員（村上盛一君） 日程的に、やむを得ないかもしれないんですけども、9月の第一週目というのは、大体35度くらいで30度を下回るとはほとんどなくて、私は中学校に勤務していたんですが、やっぱり健康上まずいかなということで、学校行事を1週間ずらしたことがあるんですけども、大丈夫なですかね。

30度以下で涼しいんだったらいいんですけども、35度ぐらいを想定して実施するとなれば、外は炎天下となるともう40度近いですから、若い人だったらいいんですけども、ある程度年配の方が大勢いらっしゃるということになると、その辺の健康管理については大丈夫なのかなという心配があります。

確かに水分とか救急の手配とかそういったことを想定、準備をしておけばいいんですけども、気温がそういう状態になったときに対応できるのかどうか、そこまで考えられて日程を決定されたのか、ちょっと心配になったんですけども。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 給水所はもちろん設置します。

ショートコースにつきましては、柳田國男記念公苑のところに給水所を設置します。

ロングコースにつきましては、今考えているところの段階なんですけど、給水所の一つ目として羽根野の鈴木医院の前、あと、利根中学校もトイレを設置する関係でお借りしますので、そこも給水所のポイントとなりまして、あと、親水公園のところに設置する考えでいます。

そこから、また公民館のほうに戻ってくる途中、親水公園から先の公民館までの間については、まだ調査中というか、給水所を設けられる場所というのを検討している段階ではありますが、給水所のほうは何カ所か設置いたします。あと、各コースのポイントにも走路員がいますので、そこで救急対応とかできるような体制がとれるということでは考えております。

○委員（村上盛一君） ということは、もう日程は絶対、いかなる理由があってももう動かせないということですか。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 県のほうにも、もうこの日程で報告しておりまして、デモンストレ

ーションスポーツのガイドブックというのを県のほうで作成しております、そこにも日程のほうが入っておりますので、動かさないですね。

○委員（村上盛一君） わかりました。

どうしても最悪の状態、炎天下で35度以上になることを考えるとね。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） そうなんです。時期的に確かに9月というと、まだ暑いというのがあるんですけども、デモンストレーションスポーツの場合、本大会期間中の開催がちょっと難しくなってしまうので、本大会が始まる1カ月前から開催していいということで、県体育協会のほうからお話がありまして、その期間で設けさせていただいているのが理由です。

○委員（村上盛一君） 何しろ18キロメートルという距離がどうなんですかね。中学生なんかは必ずテントを用意して、競技中以外は直射日光を遮ったところで休ませながら1日やるものですから、18キロメートルというと6時間ぐらい歩きますよね。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） そうですね。単純に考えても6時間はかかります。

○委員（村上盛一君） そうすると、炎天下の中を6時間歩くということは、私なんかの立場だったらちょっと18キロメートルは避けて、この7キロで精いっぱいだなと思います。

500人集めるということからすると、よほど万全な対策をとってやらないと、それを前もってお知らせしておかないと、9月7日の場合には、18キロメートルの参加を避けて7キロメートルのほうに行く可能性はあるんじゃないかなとちょっと心配しております。そういうことも考えられているわけですね。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） はい、そういうことも踏まえて、プレ大会のほうでどういった状況になるのかというのも今後、本大会に向けてつなげていければと思っています。

○委員（村上盛一君） わかりました。

○町長（佐々木喜章君） 救護車は何台ぐらい用意する予定ですか。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 救護車につきましては、道路占用許可が必要となってくると思いますので、その辺は警察のほうと詰めていかななくてはいけないのかなと思っています。

○町長（佐々木喜章君） ライオンズクラブで七福神巡りというのをやっているんですが、寒い時期でもその対応、救護班が、後をつけて対応はしているんです。冬のあの寒い時期でも必ず3、4人は歩けなくなる人がいます。

それから、給水とかそれ以外についても、中澤先生か誰かに聞いて対応はしっかりしないと、続々倒れますよ。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） その辺は専門部のほうとかでもご意見をいただいて、準備のほうは進めていきたいと思っています。

○町長（佐々木喜章君） ほかに。

○委員（木村矩男君） 日にちは大体決定というのはわかりました。時間はどうなんですか。朝早くとか考えていますか。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 時間は、スタートが9時からで、ショートコースのほうが先にスタートして、時間差でロングコースがスタートする予定です。

ウォーキングの歩き方というのは、個別、一人一人で歩くものと、団体と一緒に歩くもの二つ歩き方があるんですが、利根町については史跡をめぐっていただくということもありますので、個人個人、一人一人、自分のペースで歩いていただくというような歩き方を選ばせていただきました。

○財政課長（武藤武治君） 開催期日で私もちょっと疑問に思っているんですけども、9月7日、もう日にちが決まっているということですが、本大会は、来年ですよ。ことしプレ大会の開催で、35度ぐらいになって暑くなるというのがわかっていて、しかも、農道がコースになっていけば、ちょうどトラクターとか絶好調の時期で、この時期の道路状況がわかっているのであれば、果たしてどうなのかなという疑問があります。

それで、五霞町は9月21日が開催なんです。利根町のほうは7日ですけども、1週ずらしても大丈夫じゃないかと思うんです。県と五霞町と調整してもらって、とりあえず言うだけ言ってみて、来年ですから、最初からできないじゃなくて、働きかけてみてからのほうがいいと思います。その辺がすごく気になっています。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 日程に関しては、五霞町とも再三協議させていただいたんです。その上でこの日程ということにはなっています。

○財政課長（武藤武治君） 誰と話し合いをしているんですか。担当者レベルの話し合いですか。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 担当者と室長も踏まえてお話のほうはさせていただいております。

○財政課長（武藤武治君） 再度、教育委員からも、日程についてこういう話が出ているということで話をしてもらって、本大会は来年ですので、大会を成功させるためには、先ほど教育委員の方々がおっしゃったように、再度、開催時期を十二分に検討したほうがいいのかと思います。

○町長（佐々木喜章君） その辺については、担当課長どうですか。

○生涯学習課長（野田文雄君） 来年ですので、ちょっとその辺調整していただけるよう再度協議したいと思います。

○町長（佐々木喜章君） ほかにどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（佐々木喜章君） なければ、第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体利根町開催準備状況について、それぞれ皆さんのご意見はこれでよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（佐々木喜章君） あと、私からいいですか、一つ。

先ほど、「横断幕とかのぼり旗の設置など多用な手法を用いながら、広くPRを行う」という説明がありました。プレ大会の予算措置、この辺の予算措置はどうなっていますか。

○生涯学習課長（野田文雄君） 横断幕、懸垂幕、のぼり旗につきましては、できましたら補正予算で対応できればと思っているところです。時期としましては9月では遅いものですから、6月の補正予算で対応できれば、2年間使用できるのかなと思っております。

○町長（佐々木喜章君） 財政課長どうですか。

○財政課長（武藤武治君） はい。当初予算の中でプレ大会等の予算要求ございましたが、財政課とし

での査定をさせていただいたという経緯がございます。

必要最少限の部分だけを要求していただければ、今、生涯学習課長が言われたように、6月の補正予算で対応できればなというふうに思います。

ただ、それまでには、開催期日の確認、確定をしてもらって、懸垂幕、横断幕等にしても、どういうものを購入し、必要最小限の数ほどのくらいなのかを、はっきりさせてもらいたいと思います。

○生涯学習課長（野田文雄君） はい。それでは、今、教育委員の方々からご意見いただきました本大会の日程につきましては、再度協議しまして、変更できるよう調整をしていきたいと思います。

それから、今、財政課長からもお話しいただいたんですけれども、懸垂幕、横断幕、のぼり旗につきましては、補正予算に計上させていただきたいと思います。

○委員（佐藤忠信君） よろしいでしょうか。ちょっと気になっているところがありまして、この国体、ブレ大会には、いろいろな方が参加して見に来るということで、利根町をPRするいい機会だと思います。教育委員会が設置している看板等もちょっときれいにしていただいたりとか、あと、赤松宗旦旧居のところへ行くと思うんですが、私もたまに立ち寄ったりするんですが、玄関の横のところとか、多少傷んでいるところもありますので、しっかり見栄えよく修理していただいて、「ああ、利根町にこんないい史跡があったんだな」というものがPRできるようにしていただきたいなと思います。

私もよく地方に行くことがあるんですが、そういう史跡とかを見に行くと、「どどこ市（どどこ町）教育委員会」という看板がやはり立っています。寂れていて崩れそうだったりとかする看板を見ると、「この町、大丈夫かな」とちょっと心配になったりしますので、ぜひそういうところも見た目からしっかりしてほしいなと思っております。

○町長（佐々木喜章君） あと、農機具が通る道路状況はどうですか。

○生涯学習課長（野田文雄君） はい。先ほども教育委員の方々からありましたように、開催時期によりましては、農耕車の道路ですとかその辺の状況も事前に捉えまして、整備をしていきたいということになっております。

○委員（木村矩男君） 総合的に10月になってもよさそうな気もするけれども、これは開催期間中も可能ですね。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 開催期間中はもちろん可能なんですけど、10月となりますと町民運動会との絡みもありまして、提示させていただいた日程になっているという理由もあります。

○教育長職務代理者（武谷昭子君） よろしいですか。この案内地図を見ますと、7キロのコースで看板が五つあります。それから、18キロのコースで看板が4カ所しか、ここに表示していないんですが、それで、一般の初めて来た方が歩けますかしら。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） この看板については、史跡のその案内とか、俳句が掲示されていない史跡に、そういう看板を平成30年に整備するという場所です。

○委員長職務代理者（武谷昭子君） 道しるべではないの。

○生涯学習課主査（渡辺法子君） 道しるべではないです。あくまでも史跡の案内看板とかになります。コースの案内看板については、別に作成します。また、ポイント、ポイントにスタッフが必ずいますの

で、道に迷うということはないと思います。

○教育長職務代理者（武谷昭子君）　そうですか。わかりました。

○町長（佐々木喜章君）　ほかはないでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（佐々木喜章君）　それでは、事務局の説明がありましたように、第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体の利根町開催準備状況について、今後も本大会開催準備に向けて取り組んでいく上で、必要に応じ、教育委員の皆様方と連携しながら、改めて総合教育会議で協議していければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○町長（佐々木喜章君）　続きまして、議題2のその他に入りたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○学校教育課長（寺田 寛君）　よろしいでしょうか。

前回、第1回の利根町総合教育会議の中で議題となりました「将来に向けての小中学校適正規模・適正配置等について」の進捗状況についてご報告をいたします。

1月31日（水）に、第1回目の利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開催しております。学識経験者、保護者など委員10名を委嘱しまして、会長へ諮問を行っておりまして、検討委員会設置の経緯等の説明を行ったところでございます。

続きまして、第2回目の検討委員会は、2月28日（水）に開催をしております。このときには、国、県の基準、それから学校運営上の課題などにつきまして、小中学校の適正規模、適正配置について説明、検討を行ったところでございます。また、学校の整備状況や小学校の統廃合による児童生徒数及び学級数の試算をお示しいたしまして、統合等についても検討を行ったところでございます。

あす3月29日（木）に、第3回目の検討委員会を開催いたします。現在の小学校の整備状況について視察をいたしまして、その後、協議をしていきたいというふうに考えております。

検討委員会につきましては非公開で行っておりまして、答申を受けてから、検討内容等につきましては、ホームページで公表をいたします。

なお、ただいまご説明させていただきました進捗状況につきましては、「広報とね」の4月号に掲載をし、お知らせをしていきたいというふうに考えておりまして、進めているところでございます。

小中学校の適正配置等調査検討委員会の開催状況につきましては、以上でございます。

○町長（佐々木喜章君）　ほかはないでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（佐々木喜章君）　なければ、本日はこれで終わりにするんですが、貴重なご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

それでは、平成29年度第2回利根町総合教育会議を閉会します。

午後4時50分閉会